



# 文庫 八事山

2020・春

春季彼岸会／十三参り

令和2年(2020)1月 年4回発行[寺報]

発行所 高野山真言宗 別格本山 八事山興正寺

## 味 わ う



高野山真言宗  
別格本山 八事山興正寺

<http://www.koushoji.or.jp>  
TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383

# 味 わ う

今回登場のこのお茶碗（表紙）は、現存の人間国宝作家「鈴木藏」氏の作品で興正寺の什物です。志野や織部などの美濃焼茶碗の多くは、侘び寂の抹茶碗として使われることが多いのですが、この作品は「志野」でありながら形が献茶などに使われる天目形です。鈴木氏の作品としては大変珍しいものでおそらく注文で焼かれたものでしょう。通常の志野茶碗とは少々味わいの異なる作品ということになります。

さて、今回の「味わう」というテーマからすれば、それは舌の感覚つまり味覚ということに他ならないのですが、その味覚とは果たして食べ物や飲み物などに限られたことなのかと考えてみると決してそうとは言えません。一言で「味」と言つてはみてもそれは食物だけに限らず多方面な意味に使われていることはご存知の通りです。

「深い味わい」と言えば、それは書物や音楽、あるいは映画などの鑑賞から受ける心の奥の深い感動を意味しているでしょうし、「味のある人」とは、人間味、奥の深さ、思慮深いなど人としての豊かさを意味しています。「茶の湯の味わい」と言うときには、茶の味そのものよりも「茶をもてなす心」として茶人の心を指すことのほうが大きいのではないかでしょうか。先ほどの茶碗の味もその

ひとつでしょう。  
奥田正造という方は大正・昭和の時代を代表する茶人のひとりであり優れた教育者でもあります。氏の著した『茶味』（鎌倉新書）は、今も茶人の中に読み継がれていますが、その内容は決して「茶の味」を論じているわけではありません、〈茶人の心〉を諭している書物です。

『茶味』の中では多く古典を引いて人生の態度が語られていますが、その中で先生は、

「心の生活は、世事を離れたる境地に非ずして、平時の行為そのものの中にこそある」として知足安分の境遇（生活）を大切と享けとめておられます。つまり茶を味わうとは人生の味わいを深めることに他ならないのだということでありましょう。

茶に関しては、侘茶の始祖である利休も『新古今和歌集』藤原家隆の歌を引いて茶人の心がけを示しています。

「花をのみ待つらん人に山里の 雪間の草の春  
を見せばや」

この和歌は私もとても好きな一首なのですが、利休はまたこの歌の中に、日常の中にこそ人生の深い味わいがあることを見出した人がありました。グルメブームと言われて久しい今日ではありますが、美味は決して豪華で旨い食べ物の中にのみあるわけではないようです。平凡な日常生活の中に深い味わいを見出したとき私たちはほのかな仕合せを感じられるのかもしれません。

にしぶ ほうしょう  
住職 西部法照

岐阜にある法福寺の住職を継いだ後、1998年に渡米。「シアトル高野山仏教会」主任開教師に就任。その後、レドモンド市郊外にシアトル神護寺を開山、住職を10年に亘り務める。帰国後引退し、2018年9月より興正寺の住職に就任。



## 行事のご報告

「十一月—十二月」

十月十九日

### ● 興正寺月釜

古稀を迎える、さらに活躍の場を広げておられる神谷宗銀氏に掛釜を担当いただき、多くの方で賑わいました。興正寺担当席ではハロウインをテーマに楽しんでいただきました。



十月二十八日

### ● かに供養「株式会社札幌かに本家」

施主 株式会社札幌かに本家様により、かに供養が勤められました。第五十一年となる本年もカニや魚介類に対する感謝の意を込め、従業員の皆さまが次々に焼香し手を合わせていきました。日置達郎会長は「自然の恵みに感謝し、真心を尽くしたい」と話されていました。



十一月

### ● 七五三身体健全祈祷会

秋晴れの下、穏やかな天候に恵まれて執り行われました。子どもたちの成長を祝う行事として、古くから執り行われている七五三。子どもが三歳、五歳、七歳となつた年に合同祈祷にてお勤めさせていただいております。

祈祷は智慧授けの虚空蔵菩薩さま、子どもを守る地蔵菩薩さまがいらっしゃる能満堂で、僧侶によるご祈祷法話が行われました。子どもたちは慣れない作法や、法話に一生懸命に耳を傾け、手を合わせてお参りしていました。



十一月五日

### ● 木靈報恩法要

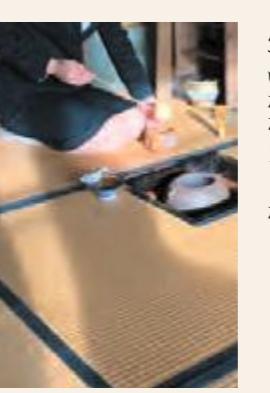
秋晴れの日差しの中、能満堂前で「木靈報恩法要」が行なされました。寿命を迎えたり、台風など様々な理由で折れた八事山全ての木々達に感謝と供養の読経が行われ、仏の力が宿る御土砂が撒かれました。



十一月十日

### ● 中京大学創立六十五周年記念 第五十九回秋の茶会

今回の茶会では点心席、薄茶席、濃茶席の三つの席をご用意させていたしました。大学関係者、O·B·O·G、他大学など約四十人近くのたくさんのお客様に来ていただき、大変喜んでいただきました。



十一月十六日

### ● 里山ふれあい体験会 「昭和生涯学習センター」

毎年行っている「里山ふれあい体験会」を開催しました。自然観察指導員の篠田陽作氏を講師に、桜やモミジの紅葉のしくみや「八事山瓦」を教えていただきました。クラフト教室は親子で楽しみました。



十一月十九日

### ● 興正寺グランドデザイン懇談会「第三回」

これから興正寺が寺院として担う役割を多角的に捉える取り組みとして開催。今回は「心やすらぐ空間としての寺とは」と題して視覚のみではなく五感で感じるデザイン、特に匂いについて中心に多方面の有識者よりご意見を賜りました。

有識者区分 耳鼻咽喉科学（医学博士）  
「布薩」として供養、読經、精進料理と瞑想まで幅広く体験していただけおりました。

座学は、今年のテーマ「律寺としてのルーツをたどる旅」の最後として興正寺開山・天瑞和尚と第五世・諦忍和尚について学び、興正



十一月十九日

### ● 軸開山天瑞圓照和尚

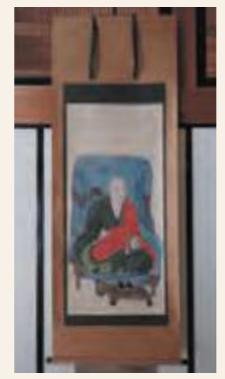


十一月二十三日

### ● 一日修養会「源をたどる布薩」

一日修養会は、座学だけに留まらない「布薩」として供養、読經、精進料理と瞑想まで幅広く体験していただけおりました。

十一月二十三日



十一月二十一日

### ● 三千仏佛名会

今年一年の罪障を懺悔し六根（迷いを引き起こす目・耳・鼻・舌・身・意の六つの器官）を断ち心身を清め新年を迎える為、過去・現在・未来各々千仏（都合三千仏）の佛名を唱えながら礼拝いたしました。



十一月二十一日

### ● 茶の湯体験「名古屋市立小学校」

総合的な学習で、日本の伝統文化である茶の湯を体験させて頂きました。相手を思いやの大切さや作法を学んだり、掛軸や茶室の見学をしたりして、子どもたちにとつて充実した体験学習になりました。

十一月二十六日

### ● 第三十回日本福祉文化学会 全国大会東海大会

緑日で音楽アクトイビティを(株)豊田マネージメントさまとご一緒してい題にパネルディスカッショントークも行ないました。学会二日目は寺内での阿息観体験も行ないました。

十一月二十六日

### ● 想耕茶会「柴舟の席」

行く秋を惜しんでの柴舟の席。月見台に設けた野点席はやつれ風炉つるし柿の結界。一服の後、中庭を歩き対岸のすすき野原の茶屋へ渡つたお客様。柴舟で川を下ったような良き一日となりました。



十一月八日

### ● 里山ふれあい体験会 「昭和生涯学習センター」

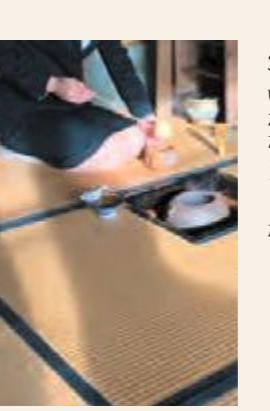
毎年行っている「里山ふれあい体験会」を開催しました。自然観察指導員の篠田陽作氏を講師に、桜やモミジの紅葉のしくみや「八事山瓦」を教えていただきました。クラフト教室は親子で楽しみました。



十一月十六日

### ● 中京大学創立六十五周年記念 第五十九回秋の茶会

今回の茶会では点心席、薄茶席、濃茶席の三つの席をご用意させていたしました。大学関係者、O·B·O·G、他大学など約四十人近くのたくさんのお客様に来ていただき、大変喜んでいただきました。



写真・報告提供 毎日文化センター



十一月八日

### ● 毎日慈善茶会「毎日文化センター」

師走恒例の毎日慈善茶会。同センターで茶道教室を開いている表千家、裏千家、松尾流の講師が茶席を担当しました。美しい紅葉の中、参加者は茶道具やお菓子の説明を聞いてくつろいだ一時を過ごしました。



写真・報告提供 名古屋市立小学校

## 行事のご報告

〔十一月―十二月〕

十二月十二日

### ● 災害対応研修会「平成三十一年度」

興正寺には、高野山の災害備蓄倉庫が設置されています。過去の災害対応から今後の防災・減災について考え、より実践的な活動が行えるよう研修会が開かれました。愛知県防災安全局防災部より愛知県の地震防災対策について、愛知県の災害の歴史や避けられない南海トラフ地震の被害を如何に小さくするかという「減災」についてお話を頂きました。その後は炊き出しの実習。備蓄倉庫にある機材を実際に使って発電をし、炊飯器を動かして湯を沸かし、保存食を試食しました。(主催 野山真言宗社会人権局)



十二月十四日

子ども寺子屋くらぶ雪んこ茶会

雪んこ茶会は十二月恒例の子どもたちだけのお茶会です。お作法よりも大事なのは、もてなしもてなされる心の通り合いで。お茶会の後は十二支の始まりに因んで、干支のつるし飾りを作りました。



十二月二十一日

### ● 興正寺月釜

冬至とは思えないような暖かな日でしたが、尾州久田流下村宗隆若宗匠の歳暮の席と興正寺廟の二席で賑わいました。興正寺席は熱々のほうじ茶に昆布と梅干しを入れた福茶で、無病息災を祈りもてなしました。

〔名古屋イーストライオンズクラブ〕白の餅を目掛けて、重たい杵を持つて「ヨイショー」と力いっぱい振り落とし餅を揚ぐ。揚げ立てのお餅を頬張り、喜びを分かち合う参拝者とお子様。笑みがこぼれた大餅つき大会になりました。



十二月二十八日

### ● 年忘れ大餅つき大会

この度、仏縁により前人未踏百萬枚護摩成満行者である、高野山伝燈大阿闍梨池口惠觀大僧正による大護摩供を厳致します。池口惠觀大僧正が護摩を修される中、炎の中に祈願者自身で護摩木を投じることができます。

(特別護摩木／一願 千円)

### 池口惠觀大阿闍梨 大護摩供

注目の行事 三月三十日



十二月十四日

### ● 除夜の鐘

元号が「令和」になり初の除夜の鐘。大勢の参拝者が白い息を吐きながら新年に向かって「ゴーン・ゴーン」と除夜の鐘を突き境内と衆生の心に響かせました。梵鐘の音色は安らぎを与えてくれます。



十二月三十一日

### 他の活動報告「十月後半～十二月」

- 出張法話
- としわ会昭和区複合型介護施設
- 特別養護老人ホーム高坂苑
- 東海地区青年会 理事会
- 東海鉄道OB会名古屋東支部
- 会合参加
- 昭和区仏教会慰靈法会
- 名古屋市自動車図書館
- やつとかめ文化祭「平曲鑑賞会」
- 第三回布教師研修会
- なごや七福神靈場会
- 布教研修会「於太融寺」
- 借地借家問題を考える会
- 茶の湯・阿息観体験・境内散策案内など
- 婚礼
- プロデュース／株式会社シユシユブライダル
- ホームニュースしようわ
- タウンニュースてんぱく
- 近隣幼稚園「どんぐりひろい」
- 矢代仁着物展示販売会
- キラツ都ナガヤ
- クラブナゴヤ「十二月号」
- ナゴヤパレット「十一月・十二月号」
- 月刊Ke-i-ly「二月号」
- 一生に一度は参拝したい全国のお寺めぐり(書籍)
- 中京大学環境サークルNEO「支援活動協力」
- 中京大学歴史文化学科「石碑調査」
- 境内施設利用
- 取材・掲載
- 物故者慰靈法会・献花「八代流」
- 僧正が護摩を修される中、炎の中に祈願者自身で護摩木を投じることができます。
- 申込 不要
- (参拝自由／無料)



十二月二十一日

### ● 終い弘法

境内弘法堂においては、年末最後の縁日に老若男女の皆様がご参拝され、報恩感謝の祈りを捧げました。時代が変われば恩に報い・日々感謝を祈る心は変わることなく子々孫々と伝わっています。



十二月十七日～二十日

### ● 冬の宝物展「仏法の守護神 十二天」

仏を位の高い順に紹介すると、悟りを開き人々を導く「如来」、悟りを開くため修行を続けながら人々に寄り添い救いの手を差しのべる「菩薩」、如来の命で悪しきものを調伏する「明王」、仏法と仏の世界を守護する「天部」となります。冬の宝物展では、成り立ちや役割、衣や装飾品にいたるまでが語り尽くされ、聞き終えた方はそれぞれの姿をじっくりと鑑賞されました。会期中は天候にも恵まれ、多くの方に拝見いただきました。次回は来年5月に「朝鮮通信使」を題材に企画展を開催いたします。



写経・写仏はじめて講座

写経の本質から簡単な歴史、どのよう

に書けばいいのかまで、わかりやすくまとめてお話ししております。質問にもお答えしますので、安心してご参加ください。

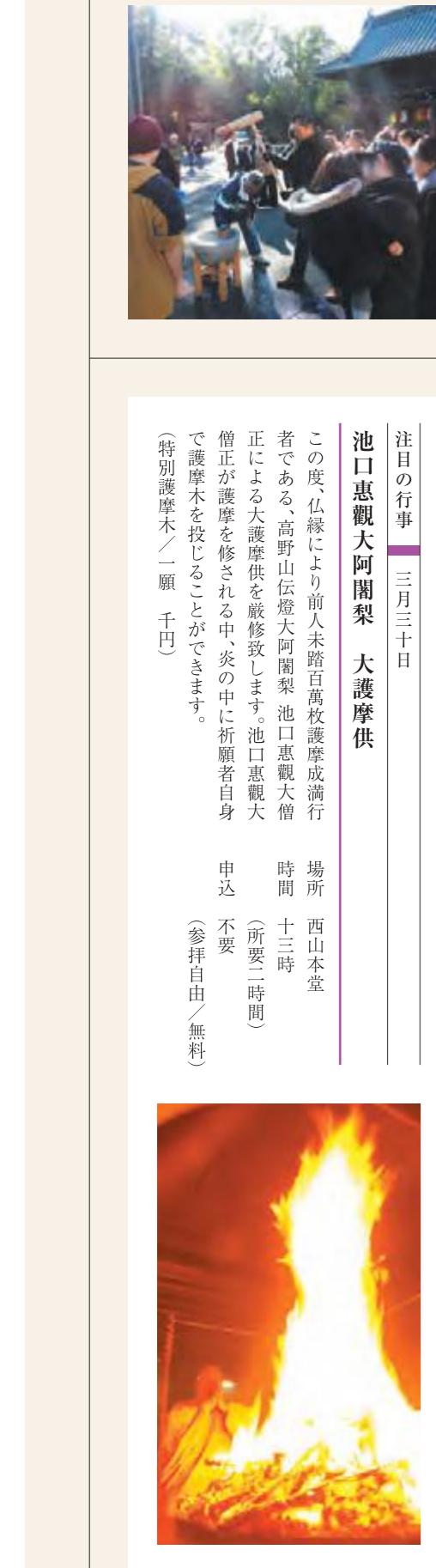
講師 植田英伸  
時 間 1時～14時  
場 所 光明殿  
申込 不要  
支具料 千円  
(法話十三時)



十二月二十二日

### ● 行事のご報告

〔十一月―十二月〕



## ご縁を育み感謝すること、苦しみを軽くし支え合うことの大切さ。

寺りと語正

僧侶 小松 永明

昭和58年生まれ。平成19年3月に入山。以来、不動明王を祀る不動堂の堂守として従事し、毎月28日開催の不動堂縁日では護摩祈祷を修法。6月の不動堂大祭は多くの参拝者で賑わう。

いただいたご縁の中で、感謝と僧侶であることの喜びを伝えることで深まるご縁の大切さを日々実感しています。

私の勤めのひとつに、作務があります。その時に、お寺に立ち寄られた方からお声がけいたることがあり、とてもありがたいことだと感じています。中にはご縁が深まり、不動堂の縁日に参加されるようになった方も見えます。

私が勤めましたお葬儀後、ご家族の方のおひとりが不動堂へ数回お見えになり、深く悩んでいることをご相談いたしました。話を重ねるうちに、徐々に表情が明るくなられ、数年後に社会人となつた姿を見られたことは、私の大きな喜びでした。話することで、少しでもお力になれるご縁を頂戴していることが、私自身の励みになっています。

お伝えする話のひとつに、自身の干支で自分を守つてもらう仏様が決まる、という話をしています。

人は悩みや苦しみが深いほど、すがりたい、頼りたいという気持ちが湧き出るもの。そんな時、自分を守る仏様があ

ることを知ることで、少しは心の負担が軽くなると考えているからです。

相談に見える方にも「ひとりで考えすぎないこと。誰にでも相談し、そして、何かにすがつてもいい」とお話しします。ご自身の干支から与えられるご縁をお伝えし、苦しみが少しでも軽くなればとの思いからです。

興正寺には、良縁

成就の木と石があります。良き人生のために願う心が受け継がれた姿です。各お堂の干支の守り本尊は、人を守り支える仏教の役割が、仏様に姿を現した不变の心です。

修行時代、「私たち僧侶へ手を合わせてくださる方は、自分ではなく、着用する袈裟に手を合わせてくださっている」と教えられました。祈りや願いは、ひとりの僧侶を通して、仏様と繋がっているということなのでしょう。それは、私たち

僧侶とのご縁の深まりは、仏様とご縁を深めることにも繋がるとも考えています。だからこそ、自己研鑽に励み、受け継がれた智慧や教えを学び、多くのご縁を育んでいくことが私の役目だと思っています。

数年前に訪れたアメリカの高野山米国別院で願った、いつかこの場所でお勤めをしたいという想いが叶い、この度、仏縁を賜りました。これまでの巡り合わせから皆様にお教え戴いた多くのことを、人種の違いを越えた心の繋がりを通して伝えていきたいと考えています。考え方も言語も違う、そしてお寺を知らない方々へ、その役割や大きさを伝えることができたらと願っています。そのようなお役目を授かったことに感謝し、新しい場所でご縁を重ねていきたいと思っています。



祈りや願いは、ひとりの僧侶を通して、仏様と繋がっている。



## 魅力の カタチ KATACHI

### 味覚の冒険

れています。薬を「服する」ことから今でもお茶は一服、二服と数えられ、単に飲むのではなく口に含み、味わいや香りを愉しむことから「喫する」と表されるのです。

さて、一服の抹茶をどのように器でいただきますか。味覚の冒険はもう始まっています。

#### 茶は「服する」「喫する」

#### 器のちから

あれ、お茶は飲むのでは？ そう思つた方もいらっしゃるのではないでしょか。飲むとは、「飲食物を口から体内に送りこむ、液体などをのどへ送りこむ」ことを言いますから、間違いではありません。では、なぜそれ以外の表現があるのでしょか。お茶は古く中国では解毒の薬とされていました。臨済宗の開祖である明菴栄西の『喫茶養生記』（鎌倉時代の代表的な医書の一つ）の冒頭に「茶は養生の仙薬であり……」とあり、これが日本で茶が文献に登場した最初とされています。そして栄西禅師が三代将軍源実朝に茶を献上したことから、日本でも本格的に飲茶の習慣が普及したと伝えら



興正寺で  
出会える、  
日本に息づく  
おもしろみ。



八事の地は江戸時代より飯田街道沿いにあり、山から水が湧き出ていて旅の休息地として、よくつかわれた処でした。

心穏やかに喜ばれ微笑しているように観じられます。

ら、修行法に励み、神仏を一心に、拝める場所だったからこそであります。四季を通して境内を散策すると

当時のヤコトの音色が聴こえるようです。

合掌

### 江戸期の創建当時、興正寺は戒律

の寺で有名でした。そばの山にも、様々な宗派の寺社がありました。

今でも、山手通の西光院、八事天道の高照寺、まこと幼稚園の光真寺や隼人池の宝珠院、桜の誓願寺、半僧坊の新福寺、松中の香積院などがあり、川名山の高い処には、般若台とい

う問答道場が遺されています。

立ち並び、自動車やトラックなど交通量が多くなり、人間がつくった近代的な音の八事（ヤゴト）、今はヤゴト、ゴトゴトという感じがします。

今では、学生街でマンションやビルがそこでは宗派を問わず、僧侶どうしが釈迦の教えや戒律などを語り合い、種種様様な仏法を論じあつた場所といわれています。

しかし、興正寺の境内、特に五重塔より東山方面（東山遍照院）の現

在の中京大学の裏側のあたりの森では、古をそのままに観じることができます。

第五世住職の諦忍妙龍和尚は、興正寺先師の中でも有名な学僧で、真言密教や淨土教戒律など幅広い仏教智識の持ち主で、この般若台の問答や津々浦々の問答道場で、その力を発揮したといわれています。当時、諦忍律师を訪ねて全国より興正寺の門をたたいたともいわれています。

大日堂や奥之院本堂（東山阿弥陀堂）、不動明王が祀られている不動護摩堂で心静かに、自然の風、音や虫鳥のさえずりが聴こえるなか修法行法を正在いると、佛さまも「熙怡微笑」、



一六九六年(元禄九年)尾陽愛知郡八事山遍照院興正律寺境内之図

## ヤコトの風音

地域の歴史と八事山

## 味わいと暮らし



古代中国の思想、陰陽五行では、味には五種類あるそうです。酸味、苦味、甘味、辛味、鹹味（塩からい味）。これらが複雑に絡み合って、無限の味覚の楽しみが生まれるのであります。「おふくろの味」、馴染みの店の「いつものやつ」。果ては、命がけで手に入る珍味や高級食材。人間の、味を追求する心は留まるところを知りません。

これら、味覚の漢字には別の読み方もあります。辛は「からい／つらい」苦は「にがい／くるしい」。味覚と感情は密接に繋がっているようです。甘は幸福感や甘え、鹹（塩からさ）は世知辛さや厳しさ。辛は怒気を孕んだつらさ、酸は立つ瀬がない、居場所のないなつらさでしょうか。

御仏のお体に具わる三十二相という特徴のうちで、御仏の舌には両側に宝の珠たまがついていて、そこから甘露という素晴らしい味わいが溢れ出ています。その味わいとは、人も神も知らず、覺りに近づいた大菩薩様でさえ知らない味わいがあります。私たちの人生には糺余曲折、様々な出来事があり、その都度々々、いろいろな感情を味わうのですが、もしかすると眞実にあたる人は、御仏様の舌だけなのかもしれません。

## 土の和らぎ

春の訪れを待ちわびる中、自然の中で一番初めに春支度を始めるのは土であります。

土は生きています。わずかひとつかみの土の中には数千億とも云われる微生物が生きています。

そのため土は、生命を育む大いなる母と呼ばれています。土は太陽からの光を受けとめ温もりを保ち、雨が降れば適度な水分を含みます。そして土そのものには、植物などを育てる栄養があります。誰かに言われるわけでもなくすべてを包み込み、分け隔てなく生命を育む姿は仏教の慈悲の御心そのものであります。また古くからの信仰では、土に宿る神を「土公神」と呼び昔の人々は大切に信仰をしてきました。この神さまは季節によつて遊行するとされ、春は竈、夏は門、秋は井戸、冬は庭に宿るとされています。その名残は私たちが使用するカレンダーや暦の中に今でも「土用」という、雑節として残されています。土は一見静かで何の変化も無いように思われますが、無窮の

恵みと自然の営みの厳しさをいつも私たちに教えてくれています。

土は生命を育むだけではなく私たちの生活の中でも幅広く活用されます。

竹翠亭の建物は、日本古来の建築様式で建てられています。建物の中の壁は土壁で出来ています。

最近の住まいでは土壁をあまり見かけなくなりました。土壁は、通気、調湿、調温などの効果にすぐれており、また光を吸収する特徴があります。最新技術の建物では室内の湿度、温度、明るさを強制的に管理し不自然な空間を作り上げました。それを私たちは快適な空間だと思うようになります。一方、土壁は土が呼吸するかのように自然に湿度、温度を和らげ、光を吸収して和らかな明かりを反射させます。そこには自然と一体となつた空間が生まれます。まさに大いなる母のようすべでを包み込んで、私たちの生活空間に和らぎというやさしさを与えてくれるのであります。





## お彼岸のご案内

# 春季彼岸会

三月十七日～二十三日



申込・締切	郵送受付(払込)	日 時 三月十七日～二十三日	各日／十一時・十三時・十五時
		場 所 光明殿二階	※ご納骨場所に間わらず
		四尺(約1・2m)	三万円

春のお彼岸合同供養を厳修致します。ご来寺、  
ご焼香賜りますようご案内申し上げます。  
尚、ご納骨有無に関わらず、どなたでもご供養させ  
ていただきます。

卒塔婆供養料 ※一靈・先祖代々共に同供養料

六尺(約1・8m) 三万円  
五尺(約1・5m)  
二尺(約0・6m) 一万円  
二尺(約0・6m) 五千円

申込書に記入、返信用封筒でご返送。  
供養料は郵便局より払込み。  
締切／三月九日まで

- 春季彼岸合同供養会
- 動物慰靈法会
- 人形仏具供養会
- 永代祠堂法会

来寺受付(現金)  
申込書に記入、供養料と共に納め。  
締切／当日まで

※卒塔婆用意の為、なるべく事前の申込を  
ご利用ください。

ご都合により合同供養会に参列できない  
皆様には、遙拝供養をお勧め致します。  
事前にお申込みください。ご供養させてい  
ただき、卒塔婆は當山にてお供えさせてい  
ただきます。



## 塔婆とは？

「卒塔婆」の略語で、サンスクリット語のス  
トゥーパがルーツ。お釈迦さまが入滅したあ  
と、その舍利(遺骨)を納めた塔(ストゥーパ)  
を建てて供養したのが始まり。卒塔婆は、故  
人や先祖を供養する追善供養(生きている人  
が亡くなった人に対して行う供養のこと)の  
目的で建てられます。追善の文字があらわす  
ように、生きている人が亡くなった人の代わ  
りに、この世で行う行為で、その功德はまた  
自分に戻ってくるという考え方です。

## 遙拝供養

ご都合により合同供養会に参列できない  
皆様には、遙拝供養をお勧め致します。  
事前にお申込みください。ご供養させてい  
ただき、卒塔婆は當山にてお供えさせてい  
ただきます。

## お彼岸とは

### 「お彼岸にお墓参りをするのはなぜ？」

古来、農耕民族であった日本人にとって、収穫を左右する太陽は大切な信仰対象でした。春の種まきや秋の収穫期と相まって、万物自然への畏敬の念と日々の恵みへの感謝、そして、祖先を大切にする人間本来の気持ちが育まれたのも当然のことでしょう。

仏教伝来以前、古の日本人は自然信仰や祖先崇拜の祈りなど、太陽に少しでも近い、身近な山の頂や高台に登つてご先祖様に感謝と供物を捧げ、その年の豊作や無病息災を願いました。その風習が、今日のお墓参りへと繋がっています。これが後に、本格的な仏教思想の拡がりと結びつくことで、阿弥陀の極楽淨土は西の「彼岸」に、現世俗世は東の「此岸」にあるとされました。春分・秋分にこそ、あの世とこの世が最も近くなると信じられていくのです。

彼岸の墓参りは、こうしてご先祖様にお会いするための日本独自の文化風習となりました。

## 動物慰靈法会

動物慰靈法会を左記の通り厳修いたします。

西山本堂奥に位置する『靈牌殿・位牌殿』に永代経位牌をお祀りされた皆様の彼岸法会。

日 時 三月二十日 九時～十三時  
＊十三時より供養会を勤めます。  
十三時までに受付を終了ください。

申込 当日受付



## 人形仏具供養会

思い出がたくさんつまつた人形・仏具に感謝を込めてお別れを。

日 時 三月二十日 九時～十三時  
＊十三時より供養会を勤めます。  
十三時までに受付を終了ください。

申込 当日受付



## お彼岸とは

### 「お彼岸にお墓参りをするのはなぜ？」

古来、農耕民族であった日本人にとって、収穫を左右する太陽は大切な信仰対象でした。春の種まきや秋の収穫期と相まって、万物自然への畏敬の念と日々の恵みへの感謝、そして、祖先を大切にする人間本来の気持ちが育まれたのも当然のことでしょう。

仏教伝来以前、古の日本人は自然信仰や祖先崇拜の祈りなど、太陽に少しでも近い、身近な山の頂や高台に登つてご先祖様に感謝と供物を捧げ、その年の豊作や無病息災を願いました。その風習が、今日のお墓参りへと繋がっています。これが後に、本格的な仏教思想の拡がりと結びつくことで、阿弥陀の極楽淨土は西の「彼岸」に、現世俗世は東の「此岸」にあるとされました。春分・秋分にこそ、あの世とこの世が最も近くなると信じられていくのです。

彼岸の墓参りは、こうしてご先祖様にお会いするための日本独自の文化風習となりました。

## 永代祠堂法会(招待制)

西山本堂奥に位置する『靈牌殿・位牌殿』に永代

供養料 一靈 五千円(卒塔婆授与)  
申込 同封の払込用紙をご利用ください  
締切／三月九日まで

複数靈お申し込みの際はご相談ください。

※当日参列不可の場合は、遙拝供養も承ります。

※当日受付可。卒塔婆用意の為なるべく事前の払込申込をご利用ください。

永代祠堂(永代経位牌)とは  
納骨堂や墓地を有するご本人やご遺族から  
の申し出により、當山がこれを認めた方の  
みに親授される古来より続く永代に渡るご  
供養の形態です。

◆3月17日～23日は「お位牌出しのみ」の対応となります。期間中はお骨出しは出来ません。ご了承ください。

お位牌出し予約 電話 052-832-2801 来寺 圓照堂・納経所まで

【締切】希望日前日15時まで

※個別供養については、ご希望にそいかねる場合がございますので、ご了承ください。事前にお問合せください。

圓照堂  
ご納骨の方へ  
要予約

## 春季彼岸合同供養会

卒塔婆供養料 ※一靈・先祖代々共に同供養料

六尺(約1・8m) 三万円  
五尺(約1・5m)  
二尺(約0・6m) 一万円  
二尺(約0・6m) 五千円

## 注目の行事

【三月～六月】

三月九日

### 涅槃会



三月十四日  
開山忌記念茶会

### 開山忌

興正寺開山 天瑞圓照和尚の遺徳を偲び、記念茶会を催します。



申込 あり(限定数／一体三百円)  
茶券 二千円

### 開山忌記念茶会

興正寺開山 天瑞圓照和尚の遺徳を偲び、記念茶会を催します。

申込 あり(限定数／一体三百円)  
茶券 二千円

三月三十一日より／定員あり)

申込 要(電話・来寺 十時～十六時)

茶券 二千円

申込 不要

茶券 二千円

### 大日堂大祭 華曼荼羅会

胎藏界曼荼羅の中心にある「中台八葉」を大日堂

広場に莊厳し、大日如來とご縁を深く結ぶ大祭。

今年の四月から来年の三月まで幟旗を上げさせていただき、毎月八日の縁日にて一年間ご祈祷致します。

◆大日堂奉納幟旗  
今年の四月から来年の三月まで幟旗を上げさせていただき、毎月八日の縁日にて一年間ご祈祷致します。

申込 電話・来寺(竹翠亭宛て)

奉賛料 三千円

### 四月八日 大日堂

申込 不要

茶券 二千円

### 四月十三日「旧暦三月二十一日」御正當

申込 あり(限定数／一体三百円)

志野流 蜂谷なをみ

申込 あり(限定数／一体三百円)

### 四月十八日 興正寺月釜

申込 あり(限定数／一体三百円)

志野流 蜂谷なをみ

申込 あり(限定数／一体三百円)

### 四月十九日 興正寺月釜

申込 あり(限定数／一体三百円)

志野流 蜂谷なをみ

申込 あり(限定数／一体三百円)

### 四月二十日 花まつり

申込 あり(限定数／一体三百円)



五月三十日  
花まつり

申込 あり(限定数／一体三百円)

茶券 二千円

### 八事の森の春まつり

環境とエコ、森と自然がテーマで、様々な催し物が楽しめます。開催詳細については、左記へご確認ください。

八事の森の春まつり実行委員会事務局

電話 052-1735-13822

申込 不要

茶券 二千円

### 四月二十九日(予定) 花まつり

申込 不要

茶券 二千円

### 四月八日 夏安居

申込 不要

茶券 二千円

### 四月十三日「旧暦四月十六日」夏安居

申込 不要

茶券 二千円

### 四月十九日 同行永代経

申込 不要

茶券 二千円

### 四月二十日 夏安居

申込 不要

茶券 二千円

### 四月二十日 花まつり

申込 不要

茶券 二千円

◆奉納受付  
花の絵を描いたろうそく  
を奉納いただきます。奉納  
された方のご芳名をあげ  
させていただきます。

奉納料 千円  
(当日受取)

受付 三月十七日より  
五月八日～八月五日

### 夏安居「旧暦四月十六日」

申込 不要

茶券 二千円

### 四月十三日「旧暦四月十六日」同行永代経

申込 不要

茶券 二千円

### 四月二十日 夏安居

申込 不要

茶券 二千円

### 四月二十日 花まつり

申込 不要

茶券 二千円

# 十二参りの日

旧暦三月十三日は、数え年で十三歳になる男女が、大人への階段を上の節目として、災厄を払い、智慧を授けていただけるよう虚空蔵菩薩に参拝する日です。

興正寺の十三参りでは、自身の志を漢字一文字に込めて色紙にしたためる「祈念の書」があります。授かった智慧をどのように伸ばしていくか、そのためにはどのような努力をしていくか、決意を込めてしていく文字が自身を見守ってくれます。晴れやかに、厳かに、新たな一步を踏み出す日となるよう、御祈祷いたします。



対象 平成二十年生まれの男女

※満年齢でも受付いたします

合同祈祷 四月二十五日（土）

五月十七日（日）

※個別祈祷は通年受付いたしております

所用時間 合同祈祷 約二時間半

個別祈祷 約四十五分

※時間は目安で、お申込み状況により前後します

祈祷料 五千円（合同祈祷、個別祈祷とも）

※個別祈祷には行儀作法講座はありません

予約方法 ① 興正寺公式サイト

申込フォームにてご予約ください

② 電話 052・832・2801

③ 来寺 興正寺納経所へお越しください

❖ 着付・記念写真はお近くのフォトスタジオへ  
お問合せください



上記QRコードから  
公式サイト『十三参り』へ  
アクセスできます。

プログラム	午前の部	午前の部
受付開始	9:30	13:30
法話・行儀作法講座	10:00	14:00
祈念の書	10:45	14:45
智慧授け祈祷	11:00	15:00

## 講座のご案内

「カレンダー日程と併せてご覧ください」

### 仏讚歌

#### 御詠歌入門講座

金剛流御詠歌の入門講座。お作法や符の読み方からはじめます。入門編に触れた後には、初級・上級講座も。

講師 鈴村智弘 僧侶  
時間 十四時～十六時  
場所 光明殿  
申込 不要  
支具料 無料

### 体験する

#### 阿息觀(密教禪)



密教の修行法として説かれた瞑想法のレクチャーをストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30日)に開講。



### 和文化体験 いけばな

花のある暮らしは、心もちをやわらかにしてくれます。肩ひじはらず、季節の草花と向き合い、その日出会った器に生ける。花をいつくしみ生きる精神と基礎を学び、日々を豊かにする体験をしてみませんか。

※資格を取得する講座ではありません

日にち 毎月第3木曜日  
時間 十三時半～十五時

講師 小林弘子 平野裕子  
支具料 三千円(花材・呈茶含)  
持ち物 お持ちの方は  
「花ばさみ」「花合羽」

### 健康づくり

#### TERA・YOGA

ヨガの基本を優しくレッスンします。茶会や結婚式にも利用される大広間で庭園を眺めながら、月に一度の自身をねぎらう時間として。



講師 山田静舟  
時間 十四時～十六時  
場所 竹翠亭  
支具料 千五百円(呈茶含)

### 遊翠の心 水墨画

講師 山田静舟  
時間 十四時～十六時  
場所 竹翠亭  
支具料 二千円(呈茶含)※申込は要事前問合せ

### 遊翠の心 阿息觀

講師 西山海良 僧侶  
時間 十時～十二時・十四時～十六時  
場所 竹翠亭  
支具料 千五百円(呈茶含)

### 遊翠の心 佛典読み解き講座

講師 西山海良 僧侶  
時間 十時～十二時・十四時～十六時  
場所 竹翠亭  
支具料 千五百円(呈茶含)

### 学ぶ

#### 仏典読み解き講座

仏典(仏教典籍)とは仏教における権威ある書物のこと。平安時代に書かれた地獄・極楽を詳しく説いた『往生要集』を読み解きます。

講師 西山海良 僧侶  
時間 十時～十二時・十四時～十六時  
場所 竹翠亭  
支具料 千五百円(呈茶含)

### 遊翠の心 写経

遊翠の心は、興正寺の普門園内にある茶室・竹翠亭で行われる少人数制の講座です。日本文化にふれ、心を深めるひとときを。

講師 西山海良 僧侶  
時間 十時～十二時  
場所 竹翠亭  
支具料 千五百円(呈茶含)

### 遊翠の心 茶の屏「秋」・「冬」

遊翠の心は、興正寺の普門園内にある茶室・竹翠亭で行われる少人数制の講座です。日本文化にふれ、心を深めるひとときを。

講師 西山海良 僧侶  
時間 十時～十二時  
場所 竹翠亭  
支具料 千五百円(呈茶含)

### 遊翠の心 茶の屏「秋」・「冬」

遊翠の心は、興正寺の普門園内にある茶室・竹翠亭で行われる少人数制の講座です。日本文化にふれ、心を深めるひとときを。

講師 西山海良 僧侶  
時間 十時～十二時  
場所 竹翠亭  
支具料 千五百円(呈茶含)

講師 植田英伸 僧侶  
時間 十一時～十四時(はじめての方は十一時よりご参加ください)  
申込 不要  
支具料 千円

### 写経写仮はじめて講座

毎月二十一日の興正寺マルシェの日に行われる体験講座です。どなたでもお気軽に。十三時より法話あり。(再受講の方は、時間内参加随意)

講師 杉浦宣秀 僧侶  
時間 十四時～十六時  
場所 境内掲示(納経所付近)  
申込 不要  
支具料 無料

講師 植田英伸 僧侶  
時間 十一時～十四時(はじめての方は十一時よりご参加ください)  
申込 不要  
支具料 千円

WEB予約の方は、下記QRコードを読み取るだけで『まなびの講座予約受付』へ簡単にアクセスできます。



# 一日修養会

令和二年度は興正寺の境内にお祀りされている干支の守り本尊様に焦点を当て、仏さまおひとりおひとりについて詳しく学んでゆきます。

今までの修養会の流れを引き継いで、一方通行の講義だけでなく、「布薩」として供養、読経、瞑想もしていただき、各回とりあげた干支の守り本尊様をお参りに境内へゆきます。また、ご要望の多かった写経も、隔月ごとに実施いたします。(全八回)



日程と内容(第1・第2土曜)

申込・締切	時 間	場 所	守り本尊	丑年、寅年
				未年、申年
支 具 料	要(普照殿受付／各回三日前まで)	光明殿	卯年	酉年
			午年	子年
※ 三宝講通年(八回)一万円(申込締切 三月五日)	十時～十四時		戌年、亥年	辰年、巳年

## ●の日程

- 10:00～ 供養・勤行
- 10:30～ 法話(仏、お経)
- 12:00～ 昼食
- 12:45～ 干支本尊参拝
- 13:00～ 瞑想(14:00終了)

## ●の日程

- 10:00～ 供養・勤行
- 10:30～ 法話(仏、お経)
- 11:30～ 昼食
- 12:00～ 干支本尊参拝
- 12:45～ 瞑想
- 13:00～ 写経(14時を目安に書き終わった人から終了)

## ◆婚礼について

日本の歴史文化を紡いできた貴重な場所で仏前結婚式を執り行つております。前撮りも承ります。

**祥月忌合同供養会**(日程はカレンダー参照)  
場 所 西山本堂(圓照堂納骨の方は圓照堂にて)  
時 間 西山本堂十三時・圓照堂十三時三十分  
供養料 一靈 五千円より(当日受付)

## ◆葬儀について

家族葬から社葬・大型葬まで、一般的なセレモニーホールとは異なり緑豈かで三百年以上の時を刻む歴史ある地での葬儀は、より一層にお越しいただいた方の記憶に残ることでしょう。お問合せは、お電話にて。

## ◆葬儀について

家族や親戚、誰もが集まりやすい八事の杜がこれから的人生にやすらぎの道を示してくれるこことでしょ。資料請求は公式サイトお問合せ、もしくは、お電話にて。

## ◆報道関係の皆様へ

取材、ロケーション使用依頼・掲載や画像使用のご相談を承っております。お問合せください。

## ◆境内・墓地での動物へのエサやりについて

動物たちへの心配りありがとうございます。

然し乍ら猫などにエサを与えると、猫が他家のお墓などを荒らしたり、エサを狙つてカラスやスズメバチ等が多く集まります。被害も増えており、墓地利用者やお寺の参拝者から苦情も出ています。糞便も出ています。

このままでは興正寺全体が動物類一切立入禁止になります。どうぞご理解、ご協力ください。

## 行事カレンダー



3月

[弥生]

御縁日 [毎月]	5日 10時 …… 大隨求明王[露店あり] 8日 12時30分… 大日如来 13日 10時 …… 虚空蔵菩薩[露店あり] 15日 13時 …… 阿弥陀如来	18日 13時 …… 観世音菩薩 21日 10時30分… 弘法大師[興正寺マルシェ] 24日 13時 …… 地藏菩薩 28日 14時 …… 不動明王
-------------	--	---

月	火	水	木	金	土	日
						1 友引  祥月忌合同供養会 [靈龕堂・佐羅陀淨苑・遮那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂]  普門園休園日 竹翠亭のみ13~15時開園
2 先負	3 仏滅  遊翠の心きもの装い	4 大安  縁日 大隨求明王 [露店あり] 場所／西山本堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)	5 赤口  縁日 大隨求明王 [露店あり] 場所／西山本堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)	6 先勝  準世代祥月	7 友引  御詠歌入門講座 一日修養会❶	8 先負  縁日 大日如来 場所／大日堂  祥月忌合同供養会 [圓照堂]
普門園休園日 [竹翠亭含]						
9 仏滅  涅槃会 春季彼岸会・ 動物慰靈法会 申込み切日(郵送受付)  普門園休園日 [竹翠亭含]	10 大安  阿息観 遊翠の心写経	11 赤口  十二世祥月 遊翠の心茶の古典	12 先勝  縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所／能満堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)	13 友引  縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所／能満堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)	14 先負  開山忌 開山忌記念茶会	15 仏滅  縁日 阿彌陀如来 場所／東山本堂
16 大安	17 赤口  春季彼岸会[合同供養会]	18 先勝  縁日 観世音菩薩 場所／觀音堂 八事夢講座 仏典読み解き講座	19 友引  和文化体験いけばな	春分 20 先負  人形仏具供養会 興正寺施主慰靈法会 動物慰靈法会	21 仏滅  縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 場所／弘法堂 月並御影供 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA [レギュラー・マタニティ]	22 大安  永代祠堂法会 御詠歌入門講座
普門園休園日 [竹翠亭含]						
23 赤口  春季彼岸会 [合同供養会]	24 先負  縁日 地蔵菩薩 場所／能満堂 遊翠の心阿息観	25 仏滅  佛教入門講座	26 大安  八世祥月 遊翠の心水墨画	27 赤口  縁日 不動明王 場所／不動護摩堂 安産合同祈祷会 [護摩祈祷]	28 先勝  普門園 10時~13時開園	29 友引  普門園休園日 [竹翠亭含]
30 先負  阿息観 池口惠觀大阿闍梨 大護摩供  普門園休園日 [竹翠亭含]	31 仏滅  想耕茶会					
普門園休園日 [竹翠亭含]						

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、13~19ページで紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。  
※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認いただけます。

## 行事カレンダー



4月

[卯月]

御縁日  
[毎月]5日 10時 …… 大隨求明王[露店あり]  
8日 12時30分… 大日如来  
13日 10時 …… 虚空蔵菩薩[露店あり]  
15日 13時 …… 阿弥陀如来18日 13時 …… 観世音菩薩  
21日 10時30分… 弘法大師[興正寺マルシェ]  
24日 13時 …… 地藏菩薩  
28日 14時 …… 不動明王

月	火	水	木	金	土	日
		1 大安 十五世祥月 遊翠の心きもの装い	2 赤口 遊翠の心 茶の古典を読む	3 先勝	清明 4 友引 祥月忌合同供養会 [靈龕堂・佐羅陀淨苑・遮那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂] 御詠歌入門講座 一日修養会②	5 先負 縁日 大隨求明王 [露店あり] 場所/西山本堂 ▽干支成満巡り 集合/納経所前 時間/10時 支具料/無料(別途朱印代)
6 仏滅	7 大安 普門園休園日[竹翠亭含]	8 赤口 縁日 大日如来 場所/大日堂 大日堂大祭 華曼荼羅会	9 先勝	10 友引 阿息観	11 先負 普門園休園日[竹翠亭含]	12 仏滅 祥月忌合同供養会 [圓照堂] 普門園休園日[竹翠亭含]
13 大安 御正当	14 赤口 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所/能満堂 ▽干支成満巡り 集合/納経所前 時間/10時 支具料/無料(別途朱印代)	15 先勝 遊翠の心 写経	16 友引 和文化体験いけばな 八事夢講座 遊翠の心 茶の扉①	17 先負 普門園休園日[竹翠亭含]	18 仏滅 縁日 観世音菩薩 場所/観音堂 興正寺月釜 御詠歌入門講座	穀雨 19 大安 普門園休園日[竹翠亭含]
20 赤口 阿息観	21 先勝 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 場所/弘法堂 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA [レギュラー・マタニティ]	22 友引 十七世祥月	23 仏滅 四世祥月	24 大安 縁日 地藏菩薩 場所/能満堂 遊翠の心 水墨画 仏典読み解き講座	25 赤口 安産合同祈祷会 [護摩祈禱] 十三参りの日	26 先勝 普門園休園日 竹翠亭のみ13~15時開園
27 友引 普門園休園日[竹翠亭含]	28 先負 縁日 不動明王 場所/不動護摩堂 遊翠の心 阿息観	29 仏滅 八事の森の春まつり (予定)	30 大安 花まつり 阿息観			

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、13~19ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認いただけます。

## 行事カレンダー



5月

[ 皐月 ]

御縁日 [ 毎月 ]	5日 10時 …… 大隨求明王 [露店あり] 8日 12時30分… 大日如来 13日 10時 …… 虚空蔵菩薩 [露店あり] 15日 13時 …… 阿弥陀如来	18日 13時 …… 観世音菩薩 21日 10時30分… 弘法大師 [興正寺マルシェ] 24日 13時 …… 地藏菩薩 28日 14時 …… 不動明王
---------------	--	--

月	火	水	木	金	土	日
				1 赤口	2 先勝	3 友引
					御詠歌入門講座	祥月忌合同供養会 [ 瞑龕堂・佐羅陀淨苑・延那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂 ]
					普門園休園日 竹翠亭のみ13~15時開園	普門園休園日 竹翠亭のみ13~15時開園
4 先負	立夏 5 仏滅  縁日 大隨求明王 [露店あり] 場所／西山本堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)  大般若經転読祈禱会  普門園休園日 竹翠亭のみ13~15時開園	6 大安	7 赤口  遊翠の心 茶の古典を読む	8 先勝  縁日 大日如来 場所／大日堂  夏安居[5/8開白・8/5結願]	9 友引  一日修養会❸	10 先負  祥月忌合同供養会 [圓照堂]  阿息觀
11 仏滅  夏安居	12 大安  遊翠の心 写経	13 赤口  縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所／能満堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)  遊翠の心 きもの装い 同行永代経	14 先勝	15 友引  縁日 阿弥陀如来 場所／東山本堂	16 先負  子ども寺子屋くらぶ 御詠歌入門講座	17 仏滅  十三参りの日
普門園休園日[竹翠亭含]	春の宝物展					
18 大安  夏安居	19 赤口  阿息觀 八事夢講座	20 先勝  遊翠の心 水墨画 はじめて講座 TERA-YOGA [レギュラー・マタニティ] 和文化体験いけばな	21 友引  縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 場所／弘法堂  月並御影供 マルシェ茶席  写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA [レギュラー・マタニティ] 和文化体験いけばな	22 先負  遊翠の心 水墨画	23 仏滅  安産合同祈祷会 [護摩祈祷]	24 大安  縁日 地蔵菩薩
普門園休園日[竹翠亭含]						
25 赤口  夏安居	26 先勝  遊翠の心 阿息觀	27 友引  遊翠の心 茶の扉❷	28 先負  縁日 不動明王 場所／不動護摩堂	29 仏滅  阿息觀	30 大安	31 赤口
普門園休園日[竹翠亭含]						

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、13~19ページで紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認いただけます。

## 行事カレンダー



6月

[水無月]

御縁日  
[毎月]

5日 10時 …… 大隨求明王 [露店あり]  
 8日 12時30分 …… 大日如来  
 13日 10時 …… 虚空蔵菩薩 [露店あり]  
 15日 13時 …… 阿弥陀如来

18日 13時 …… 観世音菩薩  
 21日 10時30分 …… 弘法大師 [興正寺マルシェ]  
 24日 13時 …… 地蔵菩薩  
 28日 14時 …… 不動明王

月	火	水	木	金	土	日
1 先勝	2 友引	3 先負 遊翠の心きもの装い	4 仏滅 遊翠の心 茶の古典を読む	芒種 5 大安 縁日 大隨求明王 [露店あり] 場所／西山本堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)  不動護摩堂 特別祈禱会	6 赤口 御詠歌入門講座 一日修養会④	7 先勝 祥月忌合同供養会 [靈龕堂・佐羅陀淨苑・遮那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂]
夏安居[5/8開白・8/5結願]						
普門園休園日[竹翠亭含]						
8 友引 縁日 大日如来 場所／大日堂	9 先負 遊翠の心 写経	10 仏滅 五世祥月 阿息観	11 大安 十六世祥月	12 赤口	13 先勝 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所／能満堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)  不動護摩堂 特別祈禱会	14 友引 祥月忌合同供養会 [圓照堂]
夏安居						
普門園休園日[竹翠亭含]						
15 先負 縁日 阿弥陀如来 場所／東山本堂 十世祥月	16 仏滅 八事夢講座	17 大安 縁日 観世音菩薩 場所／観音堂 和文化体験いけばな 仏典読み解き講座	18 赤口	19 先勝	20 友引 興正寺月釜 阿息観 御詠歌入門講座	夏至 21 大安 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 場所／弘法堂 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA [レギュラー・マタニティ]
夏安居						
普門園休園日[竹翠亭含]						
22 赤口	23 先勝 遊翠の心 阿息観	24 友引 縁日 地蔵菩薩 場所／能満堂 遊翠の心 茶の扉❸	25 先負	26 仏滅 遊翠の心 水墨画	27 大安 安産合同祈禱会 [護摩祈禱]	28 赤口 縁日 不動明王 場所／不動護摩堂
夏安居						
普門園休園日[竹翠亭含]						
29 先勝	30 友引 阿息観					
夏安居						
普門園休園日[竹翠亭含]						

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、13~19ページで紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認いただけます。